

2023年度

科目名称	適正飼養指導論
授業コード	BC257
英語名称	
学期	2023年度後期
単位	2.0
担当教員	山本 和弘 (生命環境学部), 三好 哲平 (生命環境学部), 加隈 良枝 (生命環境学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	この講義では、愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについての講義をします。
科目に関連する実務経験と授業への活用	動物病院での臨床現場や動物愛護管理行政等での実務経験のある講師陣が、現場に則した基本的知識を取り上げ、それを応用し、実践につなげ、愛玩動物の福祉と人間の共生とは何かを深く考察しながら将来動物看護師となる人材育成します。山本（予防獣医学、感染症学、臨床獣医師）、加隈（行政の諮問会議等の実務経験）三好（動物看護の経験者）。
到達目標	アニマルサイエンス学科のディプロマ・ポリシーにある「人と動物の『共生』」についての諸問題に関心を持ち、合理的な視点から分析・理解して問題解決に寄与できる能力を身につけることを目標とします。 動物看護師は1) 愛玩動物の適正飼養、2) 適正飼養の推進、3) 災害危機管理と支援、および4) 動物愛護管理行政の4つの観点から知識と教養を身に付け、動物を適正に飼養できるように動物飼養者に指導できる人材となる。
計画・内容	<p>第1回 愛玩動物の飼育（加隈） 愛玩動物の適正飼養の目的、概念について理解する 予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく(60分)</p> <p>第2回 愛玩動物飼育の現状について理解する（加隈） 予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく（60分）復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分)</p> <p>第3回 適正飼養の推進（加隈）愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策について理解する。予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく（60分）復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分)</p> <p>第4回 問題行動予防のための適切な飼養方法としつけ、飼い主に指導すべき事項や方法について理解する（加隈）予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく（60分）復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分)</p> <p>第5回 愛玩動物飼養によって人間が受ける影響と問題点について理解する（加隈） 予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく（60分）復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分)</p> <p>第6回 適正飼養に関する支援の目的と活動（民間団体等によるものを含む）について理解する（加隈）予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく（60分）復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分)</p> <p>第7回 動物愛護管理行政（加隈）：動物取扱責任者の選任条件と役割について理解する：動物取扱業・飼育施設での適正飼養指導 飼育保管基準 野良犬野良猫問題 予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく（60分）復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分)</p> <p>第8回 愛玩動物の飼養のニーズや目的を理解するとともに、グリーンケア、ペットロスについてその概要と飼い主の心情を理解し、必要な支援について理解する（三好） 予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく（60分）復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分)</p> <p>第9回 災害危機管理と支援（その1）：災害時の同行避難の重要性を理解する（山本） 予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく（60分）復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分)</p> <p>第10回 災害危機管理と支援（その2）：愛玩動物とその飼い主の災害の備えについて理解する（山本）</p>

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく（60分）復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分) 第11回 災害危機管理と支援（その3）：災害獣医療の概要と災害時における愛玩動物看護師の役割について理解する（山本）予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく（60分）復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分) 第12回 動物愛護管理行政： 飼い主指導の基盤として、公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割について理解する 動物愛護週間の役割と実施状況について理解する（山本）予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく（60分）復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分) 第13回 動物愛護管理行政 犬・猫の引取り及び負傷動物などの収容並びに処分の状況について理解する 動物による事故の内容と報告状況について理解する（山本）予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく（60分）復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分) 第14回 飼育施設での適正飼養指導（その1） 健康評価とトリアージ 衛生管理予習：次回の教科書の対応箇所を事前に学習しておく（60分）復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分) 第15回 飼育施設での適正飼養指導（その2） 安楽死 まとめ 予習：復習：前回の授業を教科書で確認し資料と共に復習する(60分)</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>パワーポイントを使用した対面式授業形式で行う。 授業内容の理解度を確認するためレポートも課す。</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<p>計画内容に示されているように、予習復習をおこなってください。 レポートや演習問題が課せられてた場合には必ず提出してください。これが成績評価の大正となります。</p>
<p>授業時間外の学修</p>	<p>復習：すでに行われた授業の復習を行ってください（60分）。 予習：次の授業の項目について教科書に目を通しておいてください（60分）。</p>
<p>教科書・参考書</p>	<p>愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 5巻 「公衆衛生学・動物看護関連法規・動物愛護・適正飼養関連法規」 Eduward Press 出版 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻「適正飼養指導論/動物生活環境学/ペット関連産業概論」 編者：一般社団法人 日本動物保健看護系大学協会 カリキュラム委員会 監修者：小沼 守、佐伯 潤 出版：エデュワードプレス ISBN：978-4-86671-164-5</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>出席を重視する。積極的に授業に出てください。 レポート点（100%）トータル100点で60点以上を合格とします。 2/3以上の出席がないと単位認定しませんのでご注意ください。</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<p>課題の際に出た質問等はキャンパススクエア、WebClass、メール、LINE等で返答します。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>特に設けないが、随時メールやLINEにて質問は受け付け各教員とアポイントを取ってください。</p>
<p>留意事項</p>	<p>愛玩動物看護師国家試験を受験するための必須科目であるため確実に履修し単位取得してください。</p>
<p>非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」</p>	<p>非対面授業となった場合には以下のように実施します。</p> <p>授業の進め方 オンライン講義形式（オンデマンド方式）で行い、必要に応じて、パワーポイント等の視覚的教材を用いて行います。</p> <p>成績評価方法 出席：各回の資料のダウンロード 授業参加態度：課題の提出状況</p> <p>成績は、提出された課題に対する点数（100%）として扱います。</p>